

奥州の冬祭り

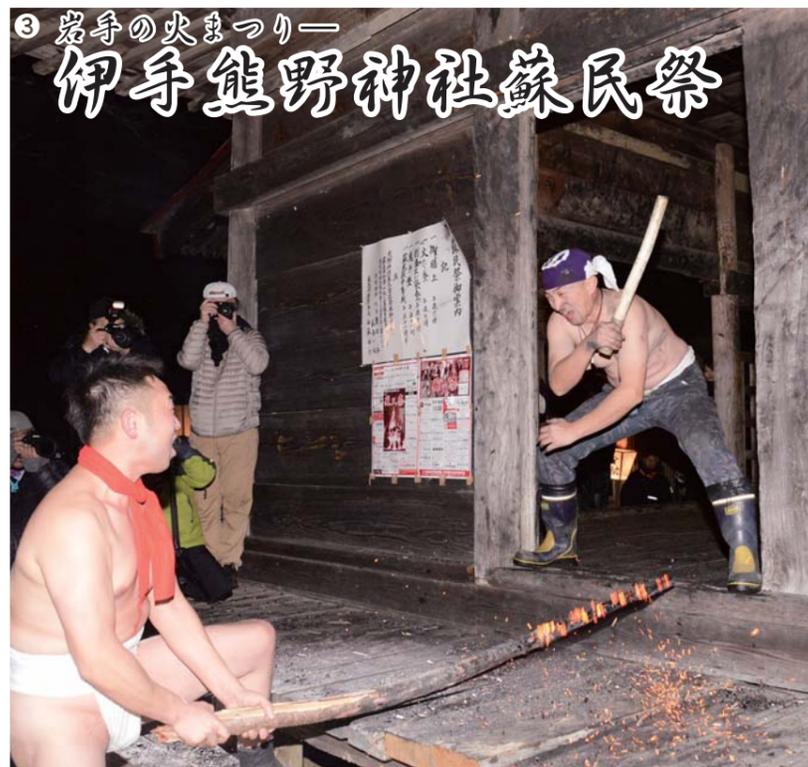
本市の冬の三つの祭り、伊手熊野神社蘇民祭が1月19日、第30回全日本農はだての集いが2月9日、黒石寺蘇民祭が2月11日から翌早暁にかけてそれぞれ開催されました。祭りの参加者は、真冬の凍てつく寒さの中、五穀豊穡、無病息災を祈願し、詰め掛けた大勢の観客は、熱気あふれる参加者と共に奥州の冬の祭りを楽しんでいました。



【伊手熊野神社蘇民祭】①「ジャッサー・ジョヤサ」の掛け声とともに「山内節」を唄う「火たき登り」 ②別当宅（江刺伝統文化等保存伝習館）から供物や祭りの道具一切を神社に運ぶ「四角登り」 ③燃える木を手にし、はらいが行われる

【全日本農はだてのつどい】④直径2.4m、高さ2mの日本一の大白で新米をつきあげ、来場者に振る舞われた「大白福餅つき」 ⑤胆沢の小学生が縄ない教室で磨いた腕を披露する「縄ないチャンピオン決定戦」 ⑥日本一の福俵を豊作坂に引き上げ、豊作と福を引き寄せる「福俵引き」

【黒石寺蘇民祭】⑦角燈を持ち、身を清めるため瑠璃壺川（山内川）に向かう「裸参り」 ⑧煙と火の粉に包まれながら氣勢を上げる「柴燈木登り」 ⑨⑩小間木（蘇民将来護符）が入った麻袋を奪い合う「蘇民袋争奪戦」



② 岩手の火まつり—
伊手熊野神社蘇民祭

